

東北電気管理技術者協会様 「会報」 2021年8月号に リークキャッチャーに関する技術解説が掲載されました！

このたび東北電気管理技術者協会様の「会報」2021年8月号にリークキャッチャーに関する技術解説（当社執筆）が掲載されました。リークキャッチャーは無停電で漏電箇所の特定ができる探査測定機器で、記事では開発の背景、漏電箇所の探査原理などが紹介されております。

1. 東北電気管理技術者協会様 「会報」 2021年8月号（抜粋）

会報

2021.8 No. 131



まかせて安心!! 電気保安のパートナー
一般社団法人 東北電気管理技術者協会

短時間でできる低圧回路の漏電箇所特定

（無停電漏電点探査器リークキャッチャーの機能と使用方法）

賛助会員 株式会社 戸上電機製作所 技術本部 片岡 健

1. 開発の背景

（1）はじめに

自家用電気設備の故障で復旧にかかる故障の一つに低圧回路の漏電がある。これを放置すると電気火災や感電事故、停電範囲の拡大などに発展する恐れがあるため、早急に原因を調べ処置することが必要となる。最近では低圧絶縁監視装置等の導入が進み漏電検知精度は向上した。しかしながら、次のステップである漏電箇所の特定は、漏電箇所が目視確認やリークメータがクランプできない、メガ測定等が容易にできない場所がほとんどであり、かつ停電調査も容易にできない状況のため時間を要するのが現状である。

弊社では、約30年前から配線路探査器 ラインチェッカ（現在はSuperラインチェッカ）の販売を行っており、そのラインチェッカの機能の一つに「漏電点探査」機能を有していることから漏電ブレーカが動作した後の漏電箇所探査にご利用を頂いているが、漏電ブレーカが設置されていない負荷や、容易に停電ができない活線負荷の漏電については適用ができないことから、約10年前に中部電気保安協会様との共同研究で、無停電で漏電箇所を探し出す探査器（リークキャッチャー）を開発し商品化した。

リークキャッチャーは、第47回産業賞を受賞した商品で、Superラインチェッカとともに電気保安用ツールとしてご利用を頂いている商品であるが、受信器のモデルチェンジにともない性能が向上したため、改めて「漏電箇所特定が短時間でできる理由とその具体的な方法」について紹介する。

（2）漏電箇所探査の現状と課題

漏電故障対応において、漏電箇所の把握（探査）は復旧の第一歩となる重要な要素となるが、漏電箇所探査の現状および課題は表1の内容と考えられ、探査に時間がかかり迅速な対応の妨げとなっている。

- 59 -

引用：東北電気管理技術者 「会報」 2021年8月号より

2. 本件に関するお問い合わせ先

株式会社戸上電機製作所

北海道オフィス TEL：011-261-1528

関西オフィス TEL：06-6386-8961

東北オフィス TEL：022-295-5571

中国オフィス TEL：082-234-0731

東京オフィス TEL：03-3465-0711

四国オフィス TEL：087-851-3761

北陸オフィス TEL：076-431-8371

九州オフィス TEL：092-721-3451

中部オフィス TEL：052-871-6471

佐賀オフィス TEL：0952-25-4150

以上